

会工同窓会会報

発 行 所

福島県会津若松市
徒之町1の37

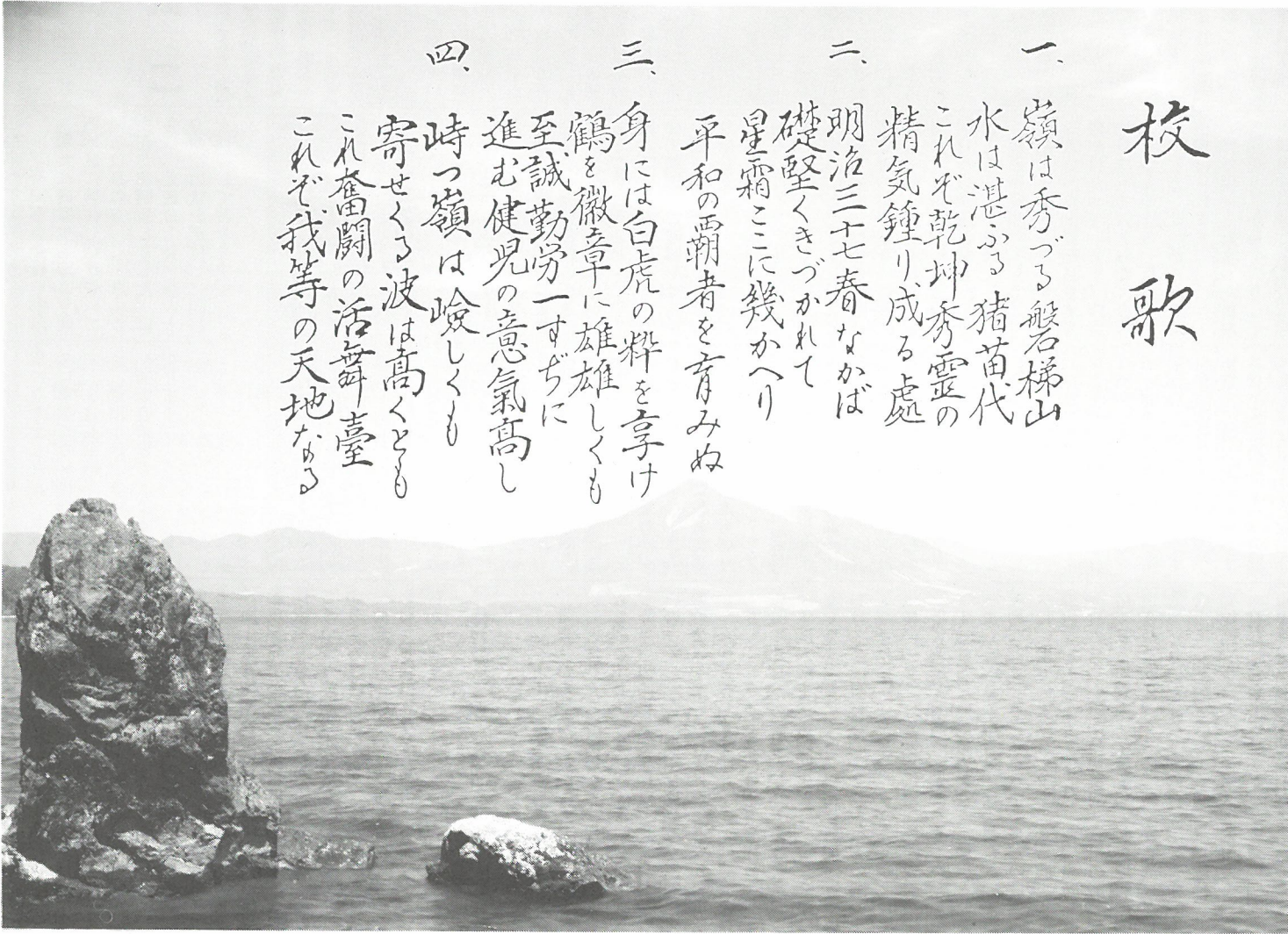
発行人 吉田一栄

平成七年度総会

平成七年十月二十九日

校 歌

一、嶺は秀づる磐石梯山
水は湛ふる猪苗代
これぞ乾坤秀靈の
精気鍾り成る處
明治三十七春なかは
礎堅くきづかれて
星霜ここに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
三、身には白虎の料を享け
鶴を徽章に雄雄しくも
至誠勤労一すぢに
進む健児の意氣高し
四、時つ嶺は峻しくも
寄せくる波は高くとも
これ奮闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



一步・一步

会工同窓会会長

吉 田 一 栄

同窓会会員の皆様益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、同窓会名簿を発刊し一〇〇周年に向かつて歩みだしました。前回の発刊より五年の歳月が過ぎ、其の早さに戸惑いを感じます。この間、阪神大震災・サリソン事件と夢想だにしない大事件が相次ぎ、阪神大震災では近畿会工会長若林氏自宅をはじめ多くの会員の皆様も災害に合われました。

ことに会員一同に成り代わり衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をおまじしております。また、会津会工会においては毎年総会会場としてお世話になっております『割烹 万花楼』社長大塩 唯男氏・総会議長としてご活躍いただいた筋内栄一氏・会計監査としてお世話になった菅井貞雄氏と同窓会の自宅をはじめ多くの会員の皆様も災害に合われました。皆

様方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。福島県で第五〇回の国体が開催され県民一同その興奮の真つ只中におりますが、この度、電気科が創立五〇周年の節目となり、電友会の設立(会長・真田 賢祐)とともにその式典を東山温泉・御宿 東鳳において二〇〇名近い会員の参加を見て盛大に挙行されましたことをご披露すると共にこの電友会の設立にあたられま

した多くの方々のご努力に感謝申し上げます。同窓会としましては校友会と並びこのような組織作りがなされ同窓会の基盤が一步一歩着実に拡大されることに大きな期待を寄せる次第です。会工会も一〇〇周年に向かつて歩みださんとしておりますが記念事業組織作りにと会員一同のご協力とご支援をお願い致しまして挨拶いたします。



ごあいさつ

県立会津工業高等学校校長

猪 狩 次 夫

平成七年度、会工同窓会総会の開催を心からお祝い申し上げます。また、日頃は吉田一栄会長はじめ同窓生の皆様方には何かと御支援、御協力を賜り、まことにありがたく、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。さて、本県にとって平成七年は、あと二月を残してありますが正に国体の年でありました。当然、本校も色んな面で国体に関わって来ましたが、特に二月に地元猪苗代で開催された冬の国体では、二名の生徒が選手として出場した外、百五十名の生徒と職員が式典音楽の演奏をはじめ、競技役員や補助員として参加しました。また、全県下で開催されたメインの秋の国体には、十名の生徒(バドミントン二名、バスケットボール一名、新体操六名、弓道一名)と二名の職員(只

木丈夫教諭 ソフトテニス成年二部、大堀均教諭 バドミントン)が選手として出場した外、百余名の生徒と職員が競技役員や補助員として参加しました。施設面では、新体育館と格技場がそれぞれバレーボールと柔道競技の練習会場となりました。選手としては勿論のこと、競技役員や補助員として参加した本校の職員や生徒の活躍が、福島国体の成功に大きく寄与したものと自負し、心からその労をねぎらっている次第であります。また、学校の近況といひますと、生徒達は現在、大変な騒音の中で勉強しております。といひますのも、南一棟(普通教室の外、化学科、電気科、電子科、理科の実験、実習室等があります)が大規模改修工事に入ってからであります。今年一年かけて外装を、来

年と再来年の二年をかけて内装を改修、三年後には新築同様に再生される予定になつております。その後にいっては、まだ計画はされておりましたが、引き続いて本館の大規模改修を県当局にお願いし、来たるべき創立百周年は是非、新装会として迎えたいものと念願しております。ところで、今年は終戦五十年という大きな節目の年となつておりますが、本校に電気科が設置されて五十年という記念すべき年でもあります。六月には、電気科卒業生の皆様方によつて「会工電友会」が結成され、更には九月三十日、ホテル東鳳において「会工高電気科創立五十周年記念式典」並びに祝賀会が盛大に開催されましたことは、まことにめでたく心からお祝い申し上げます。しかも、式典の席上、今母校に在る電

気科生徒のために三十万円相当の自動制御実験装置を御寄贈いただきましたことは、まことにありがたく、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。長引く不況下での進路指導や、生徒の多様化は勿論のこと、保護者の価値観の多様化とそれに伴う保護者と学校との連携の難しさ等々、本校としても多くの課題、難問を抱えておりますが、先輩各位の御期待に応えるべく立派な後輩の育成に、教職員一丸となって頑張りたいと考えております。終わりに、同窓生の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りし、母校の更なる充実発展のため、今後とも変わらぬ御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

大島武二

最近、北海道から沖縄の各地が地震に揺れ、「地

系の産業界でよく使われる
リンゴ印のコンピュータを
導入して、求人でプレゼン
テーションにコンピュータ
になじんでいる人という要

四日、の人事異動で池上邦彦先生が勿来工へ、斎藤洋先生が本校本郷分校に転勤。貴重な戦力を失いましたが、新たに二本松工から同窓生

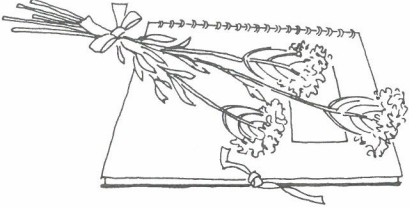
て6ヶ月間研修をし、大きな成果をあげました。また、今年10月1日よりセラミックス科教諭・村田光夫が右記

来年と南一棟を東西に二分
られれております。来年、再
電気、電子科か化学工
科のどちらかを先に、一

こうした状態は当然、高校生にも及んでいる。このことを私達は折にふれ、繰

は、今年のもっとも大きな特徴である。大会の朝方まで製作と試運転

さばきはしてくれた事は、
 ありがたかつた。製作を指
 導された白岩孝一先生、芳
 真一夫先生、それに参加し
 た生徒達に心からご苦勞さ



電気・電子科

電気科創立五十周年
記念式典開催される

電気科は、昭和二十年四月電気通信科として誕生、後昭和二十三年の学制改革に伴い県立会津工業高等学校電気科となり、奇しくも戦後五十周年の年に二千名余の卒業生を世に送り出し芽出度く五十周年を迎えました。

去る九月三十日（於東山ホテル東鳳）多数の来賓の臨席をたまり卒業生百七十名を含め、およそ二百名の参加のもとに盛大に記念式典が挙行されました。

手代木徳夫式典副実行委員長の開会・宣言の後、声高らかに校歌を斉唱、斎藤照雄式典実行委員長の本記念式典の趣旨説明を含めた挨拶、真田賢祐（電友会会長）式典大会会長の五十年の歩みと電友会の今後の抱負についての挨拶がありました。

続いて、電気科創立当時の恩師保志和吉、玉川真須美先生へ感謝状が贈呈されました。

豊饒（かくしやく）たる保志先生より笑いをさそう昔ながらのエピソードを交えた感謝の言葉が述べられました。

同窓会会長、学校長、会津若松市長の祝辞の後に現職教職員を代表して古河電気科長が教育課程や施設設備の変遷、生徒や学校を取りまく現況についての報告

がありました。

また、栢森幸雄電友会副会長より卒業生を中心とした電友会の発足と会則についての説明があり、盛会理に記念式典が終了いたしました。



会工高電気科創立50周年記念式典

「実験設備
寄贈」

電気科創立五十周年の記念事業として「自動制御実験設備一式」の御寄付をいただきました。

後輩の学習活動に有効に活用させていただきます。御厚情に対し深く感謝し御礼申し上げます。

また、教職員もそれぞれ

電子科

は、昭和三十六年に創設されてから創立三十五年、卒業生は約壹千七百七十名に達しました。

会津工業高校では、電子科創設当時より兄弟学科として伝統的に電気科と交流しています。

教室を隣り合い、実習室を共にしながら切磋琢磨して歩んできました。

の得意分野を担当し両科の指導に当たっています。

電気科五十周年を共に慶びながら、それぞれの特徴を活かし魅力ある学科として五十周年、百周年に向って前進したいと思っています。

今年の先の見えない不況は生徒達の進路にも大きな影響を与えています。生徒・教職員共に力を合わせて厳しさを乗り越えるべく頑張っています。

産業・経済界に明るい光が差し、その輪が広がることを願い、また先輩諸氏のご活躍を祈念申し上げ電気科・電子科の紹介をいたします。

電気科・古河 憲治
電子科・小沼知久平

情報技術科

主任 東條 憲

工業技術は、急激かつ複雑に変化しながら進展し、エレクトロニクス化、メカトロ化、情報化などの技術革新を生み出しました。

時代の要請を受けて創設された情報技術科も、早や七年目を迎え、第五期生を送り出そうとしています。

創立百周年を目前にして、全国屈指の歴史と伝統を誇る本校にあつて、本科は、まだ確固たる基盤ができあがっているわけではないが、

漸く独り歩き出来るまでに成長し、新しい伝統を築くべく職員、生徒ともども一丸となり努力しているところです。

これまでも会津大学への入学、第二種情報処理技術者試験の合格、第一回福島県高等学校ロボット競技大会で第三位に入賞したことなど、その実績は、高く評価されております。

長引く景気低迷と高卒労働市場の規模の縮小による求人数の大幅減少にもかかわらず、民間企業就職希望者（十三名）については、一次で一〇〇％内定という、本科創設以来の好調な結果でありました。

生徒諸君の努力もさることながら、先輩諸兄のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

公務員就職希望者（五名）については、現在すでに郵政外務と郵政Aにそれぞれ一名ずつ一次合格し、それ以外は、結果待ちの状態です。

専門学校進学一三名（内定七名）、会津大学推薦受験者二名を含め、大学進学希望者（八名）、短大進学希望者（一名）については、今後の健闘を期待するものです。

年度末人事異動で、科主任の久家克士先生が郡山北工業高等学校に転出され、郡山北工業高等学校より本田毅先生をお迎えしました。

実践的工業技術者の育成は、「もの作り」から始まると言われています。「ものを作る喜び」なくして工業教育の活性化は期待出来ません。今年度は、新教育課程に移行して二年目でもあり、科の先生方の提案により、教育内容に少し工夫を慫らしました。その一例を紹介し、先輩諸氏のご助言を仰ぎたいと思います。

まず、一年工業基礎では、従来通り「ライントレーサ」の製作と競技会を実施しています。二年の選択実習（情報演習）に「ワンポードマイコンの製作」を取り入れました。三年の実習に「6255基板の制御実習」としてリレー回路の製作と相撲ロボットの制御用ソフトの制作を取り入れました。

特に、二年で製作するワンポードマイコンは、今後ソフト・ハード両面での応用性が広がる好教材として期待出来るそうです。

今後とも、生徒の意欲を引き出すため、指導内容に工夫・改善を加えながら、新たな飛躍を目指したいと思っております。同窓生各位のご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

富樫先生、菅家先生、高橋先生、嶋原先生と私の計6名であります。なお、学年担任は、一年が本田一弘先生（国語）、二年が富樫先生（建築）、三年が須田昌義先生（数学）です。

さて、次に今年度と昨年度紹介できなかったニューズや行事について、5つ報告致します。

一、今年卒業した佐藤輝信君が、平成6年度東日本建築製図コンクールにおいて銀賞をいただきました。これは応募総数一二九二点の中から選ばれた輝かしい賞であります。

二、日本工業大学の特別奨学生に、昨年度は、佐藤輝信君、今年度は、佐藤史君が合格しました。本校建築科としては、4年連続合格の快挙であります。

三、昨年の会報でも、会工祭のところで紹介しました法用寺の模型製作と調査研究について、さる1月27日に行われた会津地区の生徒研究発表大会（工業部会主催）で発表し、最優秀賞いただきました。（この調

建築科

主任 紺野 正博

はじめに、今年度の建築科職員の動向についてお話し致します。長年本校に勤めておりました菅原健治先生は郡山北工高へ、そして菅野幸一先生が福島工高にそれぞれ転出されました。それからお手伝いをいただいたおりました鷲山継義先生は、この4月から郡山の情報ビジネス専門学校にお勤めになりました。

そして、新たに勿来工高から菅家慶広先生（会工55年度卒）、福島工（定）から高橋弘光先生、それから今年大学を卒業されたばかりの嶋原美由喜先生を迎えました。したがって今年度のメンバーは、長谷沼先生、

富樫先生、菅家先生、高橋先生、嶋原先生と私の計6名であります。なお、学年担任は、一年が本田一弘先生（国語）、二年が富樫先生（建築）、三年が須田昌義先生（数学）です。

さて、次に今年度と昨年度紹介できなかったニューズや行事について、5つ報告致します。

一、今年卒業した佐藤輝信君が、平成6年度東日本建築製図コンクールにおいて銀賞をいただきました。これは応募総数一二九二点の中から選ばれた輝かしい賞であります。

サッカー部

顧問 渡部元一郎

今年、サッカー部はインターハイ予選地区大会で予選リーグをトップで通過し、決勝トーナメントでも準優勝という成績を残し、県大会出場を果たした。県大会は福島高校におしくも1対0で敗れたが、その経験を大切にして、僕は夏休み中に全国高校サッカー選手権の一次予選にのぞんだ。

前半、僕らのペースで進んだが、最後のつめが甘く、前半は0対0で終わった。後半も僕らのペースで進んだが、一瞬のすきをつかれて相手に先制されてしまった。そのすぐあとにも同

各部紹介

サッカー部

顧問 渡部元一郎

今年、サッカー部はインターハイ予選地区大会で予選リーグをトップで通過し、決勝トーナメントでも準優勝という成績を残し、県大会出場を果たした。県大会は福島高校におしくも1対0で敗れたが、その経験を大切にして、僕は夏休み中に全国高校サッカー選手権の一次予選にのぞんだ。

前半、僕らのペースで進んだが、最後のつめが甘く、前半は0対0で終わった。後半も僕らのペースで進んだが、一瞬のすきをつかれて相手に先制されてしまった。そのすぐあとにも同

富樫先生、菅家先生、高橋先生、嶋原先生と私の計6名であります。なお、学年担任は、一年が本田一弘先生（国語）、二年が富樫先生（建築）、三年が須田昌義先生（数学）です。

さて、次に今年度と昨年度紹介できなかったニューズや行事について、5つ報告致します。

一、今年卒業した佐藤輝信君が、平成6年度東日本建築製図コンクールにおいて銀賞をいただきました。これは応募総数一二九二点の中から選ばれた輝かしい賞であります。

查につきましては、今後とも時間をかけて調査していきたいとおもっているしだいです。）

四、例年行っている外部講師による講演を今年は、穴澤建設の遠藤孝幸氏と小林建築デザインルームの小林良行氏にお願いし、建築現場や設計事務所の仕事の内容について3年生を対象に講演をいただきました。

また、今年度はじめて、現場見学会（建設業協会主催）に参加し、あづま総合運動公園内の諸施設と本宮にある県中浄化センターを見学致しました。

五、新しいドラフターが20台・模擬日照装置・デジタルトランシットがそれぞれ一台ずつ今年度入ることになりました。

以上ですが、建築科としては、これからの失敗を恐れず、積極的に、粘り強くをモットーに物事に取り組んでいきたいとおもっておりますので御指導・御協力 のほどよろしくお願い致します。

じょうなことをして僕は2点を追う形になった。2点を取って油断した相手からなんと2点をうばい同点となったが、そこからは相手が守りに入ってしまった。点をうばうことができず、結局PKで敗れてしまった。3年生はこれが最後の試合だった。本当にくやしかったと思う。でも後半油断した罰が負けにつながったと思う。勝負に油断はゆるされないことに今の1、2年生にも、気付いてほしい。3年生の分も僕は、がんばっていかねばならないと思う。

山岳部

顧問 紺野 晋吉
小荒井幾雄
私達山岳部は、現在一年生九名、顧問二名で活動しています。

日頃は、体力トレーニングや、天気図を書く練習をしています。
山へは、大会を含め四つの山へ登りました。新入部員歓迎合宿、地区新人大会の磐梯山、地区大会の猫魔岳、県大会の浅草岳、そして夏山合宿の飯豊連峰です。この内飯豊連峰は本校山岳部の定番コースである、御沢から三国岳、飯豊本山を通り、御西、烏帽子岳を経て洗濯平から、湯の平温泉へと降りるという私達一年生にとっては、大変つらいものでした。この夏山合宿の三日目の幕営地の文平の池で、私達は、本校を昭和三十三年に卒業された、元山岳部の佐藤航喜さんと出

会いました。佐藤さんとは、以前、磐梯山でもお会いしたこともあり、すでに知っているかたでしたが、また山でお会い出来るとは思っていませんでした。今、私達は、県新人大会へ向け練習をしています。先輩方の残した功績にはじぬよう、頑張ろうと思っています。

バドミントン部

顧問 佐竹 勝行
大堀 均
近藤 正俊

今年のバドミントン部は、現在三年生を除き、二年生三名、一年生五名と団体戦で練習しているが、一人一人が前の成績より上の成績を目指して練習しています。今年のチームはまず、会津大会優勝という目標を持ち練習をおこなっています。その結果、会津地区での新人戦で優勝できました。しかし、まだ第二の目標、県でベスト4入りがあります。今年のチームは一人一人の技術は持っていると思いますが、県ではまだ通用しないと思います。まして

今年のバドミントン部は、現在三年生を除き、二年生三名、一年生五名と団体戦で練習しているが、一人一人が前の成績より上の成績を目指して練習しています。今年のチームはまず、会津大会優勝という目標を持ち練習をおこなっています。その結果、会津地区での新人戦で優勝できました。しかし、まだ第二の目標、県でベスト4入りがあります。今年のチームは一人一人の技術は持っていると思いますが、県ではまだ通用しないと思います。まして

バレーボール部

顧問 阿部 光
須田 昌義
古畑 一男

大会、東北大会、全国大会へ勝ち進みたいと思います。また先輩たちのような強い会津工業を目指し、二年連続インターハイ上位入賞という素晴らしい成績をのこしたいと思っています。

ソフトテニス部

顧問 渡辺 源孝
菊地 寿雄
只木 丈夫

我々、ソフトテニス部は部員数14人の少人数で活動しています。少人数ではありますが3人の顧問の先生方の元で練習に励んでいます。春のインターハイでは、地区優勝こそできなかったけれどもチーム一丸となって戦ったことはよかったと思います。最後の大会で優勝することができた本当は一番良かったのだと思います。3年生が引退し、夏休みの合宿では新チームで4日間、自分自身とチームの目標を立てて練習を行いました。ですが、夏休み中の練習の成果も出せぬまま、地区新人戦が不本意な結果に終わってしまいました。熱心に指導していただいたにもかかわらず結果を出すことができなかったことに、やしい思いをしました。この思いを忘れぬようこれから部活動に活かすことが一番大切なことだと思います。

我々、ソフトテニス部は部員数14人の少人数で活動しています。少人数ではありますが3人の顧問の先生方の元で練習に励んでいます。春のインターハイでは、地区優勝こそできなかったけれどもチーム一丸となって戦ったことはよかったと思います。最後の大会で優勝することができた本当は一番良かったのだと思います。3年生が引退し、夏休みの合宿では新チームで4日間、自分自身とチームの目標を立てて練習を行いました。ですが、夏休み中の練習の成果も出せぬまま、地区新人戦が不本意な結果に終わってしまいました。熱心に指導していただいたにもかかわらず結果を出すことができなかったことに、やしい思いをしました。この思いを忘れぬようこれから部活動に活かすことが一番大切なことだと思います。

野球部

顧問 栗城 一郎
杉山 彰一
若林 亨

我々野球部は、日々苦しい練習を一人一人元気をだして一生懸命がんばっています。今年の夏の県大会ではシード校を倒しベスト8入りをし、準々決勝では、今年度の優勝校磐城高校に2対0という点差で惜しくも負けてしまいました。試合後、もう少しだった夢の甲子園へ行けなくてみんなくやしくて涙しました。そんな時に先輩方をみてみると、一・二年とはまた違う涙のように見えました。そんなときに先輩達が一・二年に「オレたちよりもっと練習すれば絶対にベスト4入りできる。」と言ってくれた先輩達にこたえようと、夏休み一生懸命練習し、秋の県大会出場をめざしましたが、力不足で負けてしまいました。しかし、負けただけでよいというチーム内が一つにまとまってきた。今、チームは良い方向にかた向きかっているところだ。また一からやり直し、来年の夏の県大会ではベスト4の壁を破り、県大会で優勝して、会津工業初めての甲子園出場をなしとげたいと思います。夢を実現させるために、一・二年みんなと冬の練習、春の練習を全力を尽くしてがんばっていききたいです。

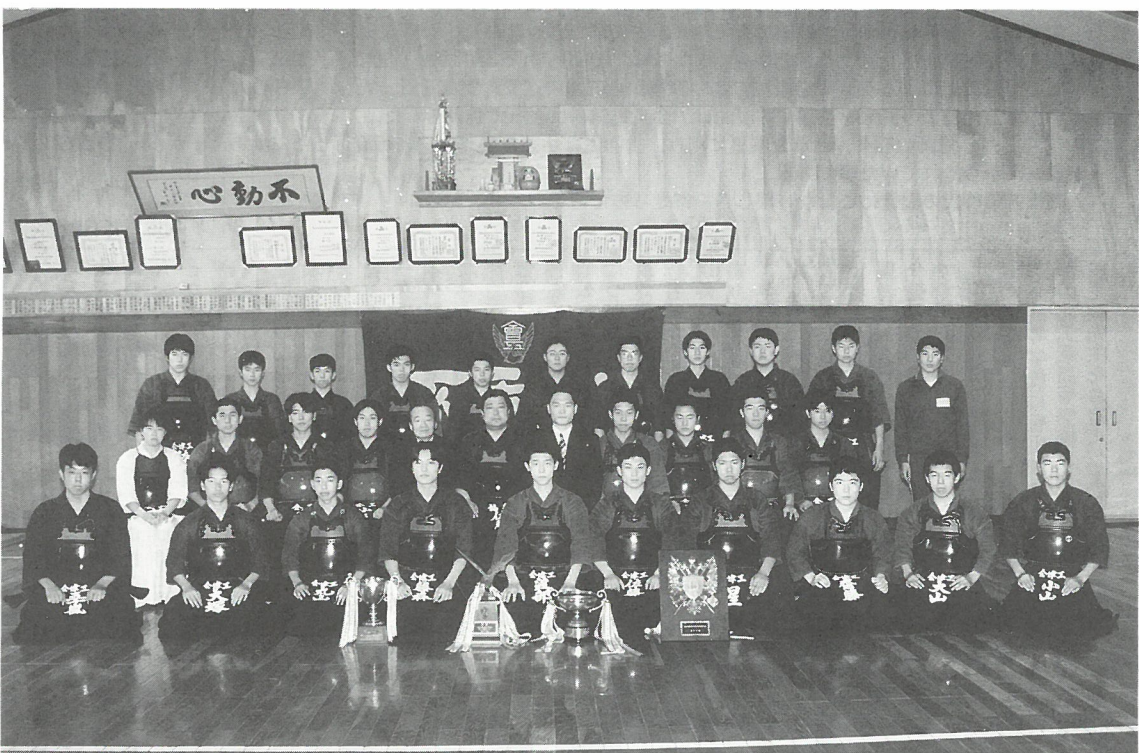
我々野球部は、日々苦しい練習を一人一人元気をだして一生懸命がんばっています。今年の夏の県大会ではシード校を倒しベスト8入りをし、準々決勝では、今年度の優勝校磐城高校に2対0という点差で惜しくも負けてしまいました。試合後、もう少しだった夢の甲子園へ行けなくてみんなくやしくて涙しました。そんな時に先輩方をみてみると、一・二年とはまた違う涙のように見えました。そんなときに先輩達が一・二年に「オレたちよりもっと練習すれば絶対にベスト4入りできる。」と言ってくれた先輩達にこたえようと、夏休み一生懸命練習し、秋の県大会出場をめざしましたが、力不足で負けてしまいました。しかし、負けただけでよいというチーム内が一つにまとまってきた。今、チームは良い方向にかた向きかっているところだ。また一からやり直し、来年の夏の県大会ではベスト4の壁を破り、県大会で優勝して、会津工業初めての甲子園出場をなしとげたいと思います。夢を実現させるために、一・二年みんなと冬の練習、春の練習を全力を尽くしてがんばっていききたいです。

剣道部

顧問 佐藤 善久
青井 勝

我々剣道部は、佐藤善久先生と青井勝先生のご指導のもと、一年生十三名、二年生八名、計二十一名で日々練習に励んでいます。今までの試合を振り返ってみると、会津では勝つても、県では納得のいく成績をおさめることができません。やはり上位入賞校と会工剣道部を比べてみると、

我々剣道部は、佐藤善久先生と青井勝先生のご指導のもと、一年生十三名、二年生八名、計二十一名で日々練習に励んでいます。今までの試合を振り返ってみると、会津では勝つても、県では納得のいく成績をおさめることができません。やはり上位入賞校と会工剣道部を比べてみると、



水泳部

顧問 紺野 正博
長崎 敏秀

その結果、過去一度しか優勝できなかった会津総体の団体戦も優勝することができ、着々と一人一人の実力がついてきているので、ここで満足して気を抜かず、より高度な技術を身につけるために、自分に厳しくこれからの日々の練習に努力していききたいと思います。目標は県大会「優勝」ですが、この目標を達成するためにも、一人一人パラパラでなく、部員二十一名が、一丸となって、これまで以上に頑張っていきたいと思っています。

その結果、過去一度しか優勝できなかった会津総体の団体戦も優勝することができ、着々と一人一人の実力がついてきているので、ここで満足して気を抜かず、より高度な技術を身につけるために、自分に厳しくこれからの日々の練習に努力していききたいと思います。目標は県大会「優勝」ですが、この目標を達成するためにも、一人一人パラパラでなく、部員二十一名が、一丸となって、これまで以上に頑張っていきたいと思っています。

その結果、過去一度しか優勝できなかった会津総体の団体戦も優勝することができ、着々と一人一人の実力がついてきているので、ここで満足して気を抜かず、より高度な技術を身につけるために、自分に厳しくこれからの日々の練習に努力していききたいと思います。目標は県大会「優勝」ですが、この目標を達成するためにも、一人一人パラパラでなく、部員二十一名が、一丸となって、これまで以上に頑張っていきたいと思っています。

陸上競技部

顧問 阿部 秀幸
高橋 盛久
佐々木建治

平成七年度、我々陸上部は新しく気持ちを入れ替える為に伝統的なユニフォームを変えました。今年に入り地区大会、県大会において会津工業陸上部の名をとどろかすべく、一丸となつてがんばりました。結果としては、走り幅飛び、やり投げ、ハンマー投げにおいて東北大会に出場することができました。そして、走り幅飛び、やり投げでインターハイに出場することができました。全国大会ではおもしろい結果は得られませんが、来年こそは全国入賞を目標にがんばりたいと思います。

平成七年度、我々陸上部は新しく気持ちを入れ替える為に伝統的なユニフォームを変えました。今年に入り地区大会、県大会において会津工業陸上部の名をとどろかすべく、一丸となつてがんばりました。結果としては、走り幅飛び、やり投げ、ハンマー投げにおいて東北大会に出場することができました。そして、走り幅飛び、やり投げでインターハイに出場することができました。全国大会ではおもしろい結果は得られませんが、来年こそは全国入賞を目標にがんばりたいと思います。

平成七年度、我々陸上部は新しく気持ちを入れ替える為に伝統的なユニフォームを変えました。今年に入り地区大会、県大会において会津工業陸上部の名をとどろかすべく、一丸となつてがんばりました。結果としては、走り幅飛び、やり投げ、ハンマー投げにおいて東北大会に出場することができました。そして、走り幅飛び、やり投げでインターハイに出場することができました。全国大会ではおもしろい結果は得られませんが、来年こそは全国入賞を目標にがんばりたいと思います。

平成七年度、我々陸上部は新しく気持ちを入れ替える為に伝統的なユニフォームを変えました。今年に入り地区大会、県大会において会津工業陸上部の名をとどろかすべく、一丸となつてがんばりました。結果としては、走り幅飛び、やり投げ、ハンマー投げにおいて東北大会に出場することができました。そして、走り幅飛び、やり投げでインターハイに出場することができました。全国大会ではおもしろい結果は得られませんが、来年こそは全国入賞を目標にがんばりたいと思います。

平成七年度、我々陸上部は新しく気持ちを入れ替える為に伝統的なユニフォームを変えました。今年に入り地区大会、県大会において会津工業陸上部の名をとどろかすべく、一丸となつてがんばりました。結果としては、走り幅飛び、やり投げ、ハンマー投げにおいて東北大会に出場することができました。そして、走り幅飛び、やり投げでインターハイに出場することができました。全国大会ではおもしろい結果は得られませんが、来年こそは全国入賞を目標にがんばりたいと思います。

スキー部

顧問 茂木 利幸
渡部 明仁
穴沢 良行

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

スキー部は、アルペン部員10名、クロスカントリ部員7名、ジャンプ部員2名の合計19名で活動しています。県大会では7名の選手が、全国高校スキー大会に出場し、今までの成績を納めました。また、平成七年度福島国体にはアルペン一名が、クロスカントリ一名が、ジャンプ一名が、スキー部を陰から支えてくれました。今シーズンも、一人でも多くの選手が全国大会、国体、東北大会に出場するたため、長いオフシーズンを各自一生懸命トレーニングしています。今年の冬が楽しみです。

卓球部

顧問 小林 昭二
芳賀 一夫

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

我々卓球部は、一年九名、二年六名で毎日練習に励んでいます。インターハイ地区大会、地区総体では二連覇を果たし、個人戦においても、多くの県大会出場を果たしました。先輩達が抜けた県大会のベスト16以上のランカーがいなくなつてしましました。これからは新しいメンバーが先輩達に追いつけ追い越そうと、毎日自分の目標に向かい、顧問の先生の指導をうけ、県で通用する選手になれるように頑張りたいと思います。

弓道部

顧問 新妻 孝
今野 澄夫

現在、三年生が引退し、部員は二年生六人、一年生一人の計七人で、顧問の新妻先生のもと、日々練習に励んでいます。その結果、東北地区練成大会出場、地区新人戦四連覇を達成することができました。また、今年も県の強化指定校に選

現在、三年生が引退し、部員は二年生六人、一年生一人の計七人で、顧問の新妻先生のもと、日々練習に励んでいます。その結果、東北地区練成大会出場、地区新人戦四連覇を達成することができました。また、今年も県の強化指定校に選

現在、三年生が引退し、部員は二年生六人、一年生一人の計七人で、顧問の新妻先生のもと、日々練習に励んでいます。その結果、東北地区練成大会出場、地区新人戦四連覇を達成することができました。また、今年も県の強化指定校に選

平成七年度の会工

福島県立会津工業高等学校

教頭 半野 幸雄

本年は、屠蘇気分も覚めやらぬ一月十七日未明に突如襲った「阪神大震災」から始まったようです。

これに比べ、生徒たちは学習・部活動に励んでいることを報告申し上げます。

本年は第五十回国民体育大会「ふくしま国体」の開催年であります。冬はスキー(クロスカントリーとアルペン)に出場し、クロスカントリーは少年男子リレーで七位に入賞しました。

秋の大会には、バドミントン・弓道・新体操が出場しました。バドミントンは先生と生徒が出場しました。中でも新体操の活躍が期待されます。

学校は、バレーボールと柔道の練習会場として用いられ、国体関係の旗がはたされました。

夏の高校野球大会では、ベスト八まで進み、警城高校と対戦し二対〇で惜敗しました。因みに県代表で甲子園に出場したのは警城高校でした。

吹奏楽コンクールでは、地区大会で久々の最優秀賞を受賞しました。県大会では残念なことに銅賞でした。

JRCの活躍も目覚ましく、機械科三年の佐藤佳代子さんが、夏休み中に韓国で開かれた世界JRC大会に日本代表として参加し、大いに見聞を広めてきました。

九月から校舎の大規模改修工事が始まりました。今年度は、南一棟の外装工事、明年度から二年間で内装工事と進む予定です。電気・電子科と化学工学科、理科室と普通教室が一新されます。その外、北一棟の補修

と北体育館の床張替えと照明工事が十月から着工されます。

芸術教室は、九月十三日(水)、風雅堂での演劇鑑賞でした。井上ひさし氏原作の「国語元年」です。話し言葉の中に、話す人の心があると言う、なかなか含蓄ある内容でした。

九月二十六日(火)に白河実業高校で行われた県工業高校主催のロボット競技大会でアイデア賞を受賞しました。

本年は、三年に一度の強歩会が十一月二日(木)に行われます。この大会で例年と違うことは、チェックポイント通過に時間制限を設けたことです。

学科卒業の佐藤睦郎(ろくろ)氏(二科会員)のご遺族から「断層」という八十号の絵画が寄贈されました。当分の間校長室に展示しております。

十月二十日、昭和二十年卒業の窯業科と工業科学科のOB達が当時の校長河野幸男先生(本年九十四歳)から改めて卒業証書が授与されました。

九月三十日(土)午後二時から総勢二百余名参加して電気科創科五十周年式典続いて記念祝賀会が「ホテル東鳳」で盛大に行われました。

以上が、学校を取り巻く活動の主なものであります。

【人事異動】
七年度始め県教職員の人事異動により次の諸先生方をにお送りし、新たに次の先生方をお迎えしました。

【転入者】
耶麻農業高校↓加藤久仁子教諭・高久礼子教諭、南会津高校↓渡部亮教諭・渋井沼高校↓渡部亮教諭・渋井祥雄教諭、会津第二高校↓高橋利雄、只見高校↓橋内哲治常勤講師、喜多方工業高校↓十二村宗紀教諭、小荒井幾雄実習教諭、佐々木健治実習教諭、郡山北工業高校↓本田毅教諭、本郷分校↓村田光夫教諭、二本松工業高校↓穴沢良行教諭、勿来工業高校↓菅家慶広教諭、坂下高校↓赤城礼子養護教諭、福島工業高校定時制↓高橋弘光実習助手、会津高等技術専門校↓加藤長生事務長、本庁経理課↓岡崎典生事務次長、会津女子高校↓横山國子主任学校司書喜多方商業高校↓渡部秀一用務員(会二高所属)

【退職者】
山内希巳非常勤講師、鷲山継義常勤講師、横山永哉常勤講師、石山信一時間講師、赤池洋一実習助手、谷口義徳期限付実習助手、高橋慶一事務長、高橋明雄事務次長、秋山敏男主任用務員

【新入生】
推薦入学は、目的意識が明確で、適性があり、成績優秀で人物が優れていることを条件として、出身中学校長の推薦を受けた者の中から決定されます。

平成七年度におけるI、F、C、M、E、D、J、Aの八学科推薦入学による受験者は百七二名で、合格者は、一九九名で、その平均倍率は一・四四倍でした。

【部活動】
今年度も、高校総体・津地区大会では殆どの部が優勝し、東北高校総体へ出場しました。全国インターハイに出場したのは、陸上競技、バドミントン、弓道、体操の各部でした。

音楽部(吹奏楽委員会)の定期演奏会が十一月十八日(土)例年どおり風雅堂で開催予定です。

【部活動】
今年度も、高校総体・津地区大会では殆どの部が優勝し、東北高校総体へ出場しました。全国インターハイに出場したのは、陸上競技、バドミントン、弓道、体操の各部でした。

音楽部(吹奏楽委員会)の定期演奏会が十一月十八日(土)例年どおり風雅堂で開催予定です。

【部活動】
今年度も、高校総体・津地区大会では殆どの部が優勝し、東北高校総体へ出場しました。全国インターハイに出場したのは、陸上競技、バドミントン、弓道、体操の各部でした。

「厳しい就職戦線」

進路指導主事 稲田 盛夫

七月一日より求人受付が開始されました。急速な円高などにより、企業業績の先行きに対する不透明感が強まる中、産業界は来春の新卒採用を引き続き抑制している時期でもありました。

案の定、求人の出足がわるく、十月七日現在で六九一社の求人があり、昨年度の七割、三年度は二、五八〇社の求人がありましたから、バブル時代からみると相当激減しているわけです。

加えて、求人の数も昨年度の半数程度にとどまり、これまで採用して貰っていた企業を受験しても不合格となるケースが多くみられます。

現在、内定百十一名、不合格四五名となっております。

特に県外の不合格が目立ちました。就職する際に大切なことは、やはり、熱意・意欲があること、一般常識・教養があること、行動力・実行力があること、専門的知識・技能があること、等があげられます。ともかくも、景気が低迷しており、企業は堅実な人材を求めているように思われます。

二次募集している企業を受験中ではありますが、年末には百%内定できるよう、努力するつもりです。十月二七日に県主催で、昨年度から始まったわけですが、就職促進説明会がサンピア会津で実施されます。地元企業を希望している生徒については、そこでさらに煮詰めて、できるだけ生徒の希望する職種に就けるようにしたいと思っております。

大学進学希望者は六十名ほどですが、今のところ二名内定、ほとんどがこれから受験です。昨年度の三十名を越えるよう期待しているところでもあります。

公務員は四十名ほど受験しており、今年度はどこもかなりの倍率が高く、非常に厳しい状況にあります。不合格が多数出ると予想されますので、そのフォローにも全力をつくすつもりです。

就職等で、同窓会の方々にいつも大変お世話になっており、深く感謝している次第です。今後ともよろしくお願い致します。

平成七年

同窓会事業報告

平成6年11月16日 会工同好会に会長ほか2名出席
11月20日 会工同窓会総会 出席者57名
会報発刊(割烹萬花楼)
阪神大震災によって、近畿同窓会会員が被害にあう
会津会工会新年会(割烹米熊)
1月30日 猪苗代会工会総会に4名出席
1月31日 建友会総会へ出席 会長ほか2名出席
2月25日 会工同窓会入会式(記念品も贈呈)出席
2月28日 会長ほか6名出席
3月1日 卒業式に会長ほか3名出席
3月4日 卒業祝賀会に会長ほか3名出席
3月9日 会津会工会総会に3名出席
阪神大震災で被害をこうむった近畿会工会へ義援金を送る
本部より35万円、会津会工会新年会時7万円、教職員13万円(合計55万円)

職員同好会送別会に出席
会長ほか2名出席
職員同好会歓迎会に出席3名出席
幹事大塩氏告别式
会長ほか1名出席
郡山会工会総会に藤島副会長ほか3名出席
東海会工会総会に会長、小林教頭2名出席
東京会工会総会に会長ほか5名出席
近畿会工会総会に会長ほか2名出席
会計監査菅井氏の告别式
会長、事務局3名参列
会工会支部旗(東京、東海、近畿)寄贈
田代郡山会工会会長による
同窓会名簿発刊
坂下会工会総会に梅津副会長ほか6名出席(うち3名は坂下出身)
電友会総会に藤島副会長ほか3名出席

